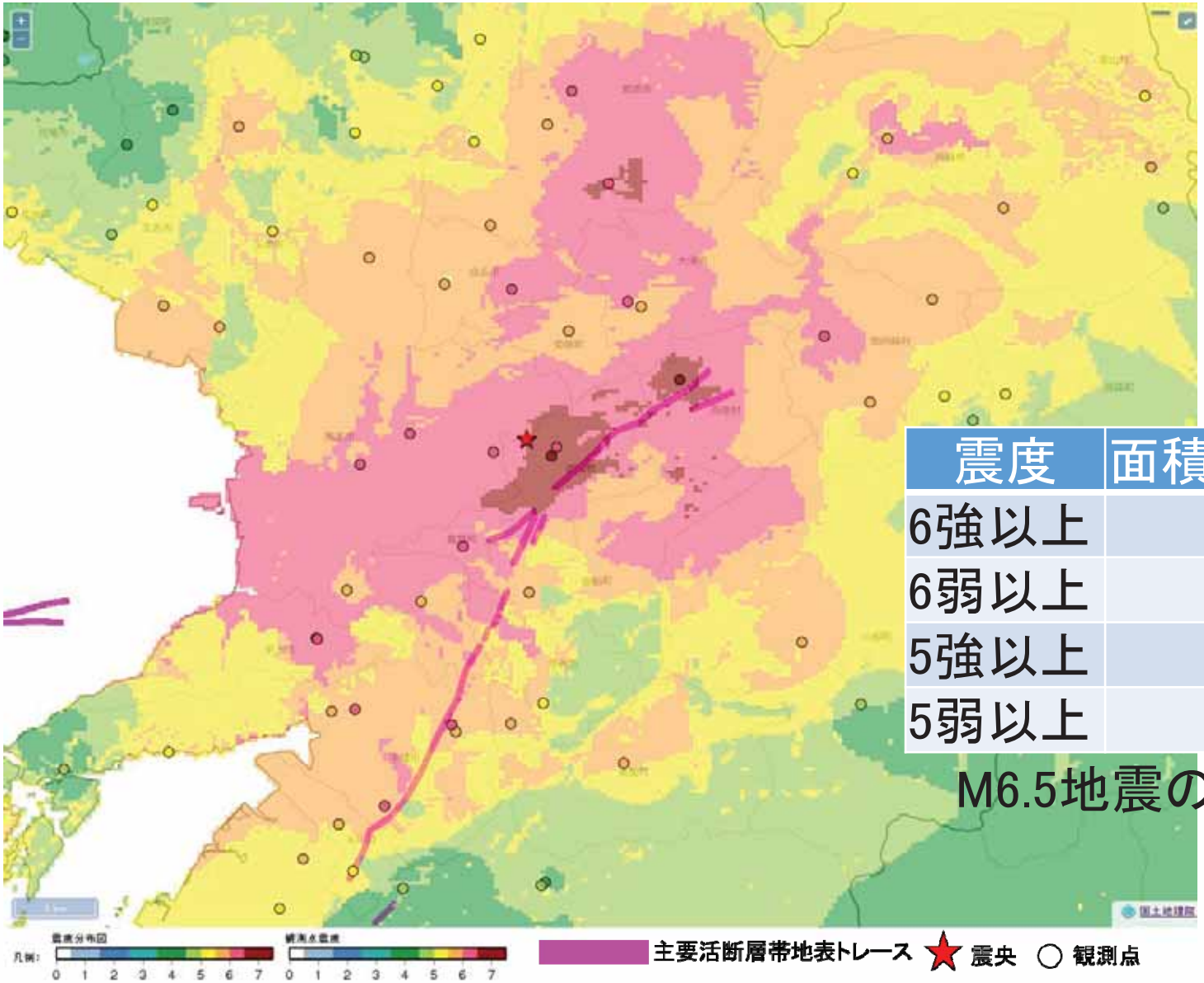
推定震度分布（M7.3地震）

地震発生後29秒後から情報発信を開始し、11分程度で8報を発信した。

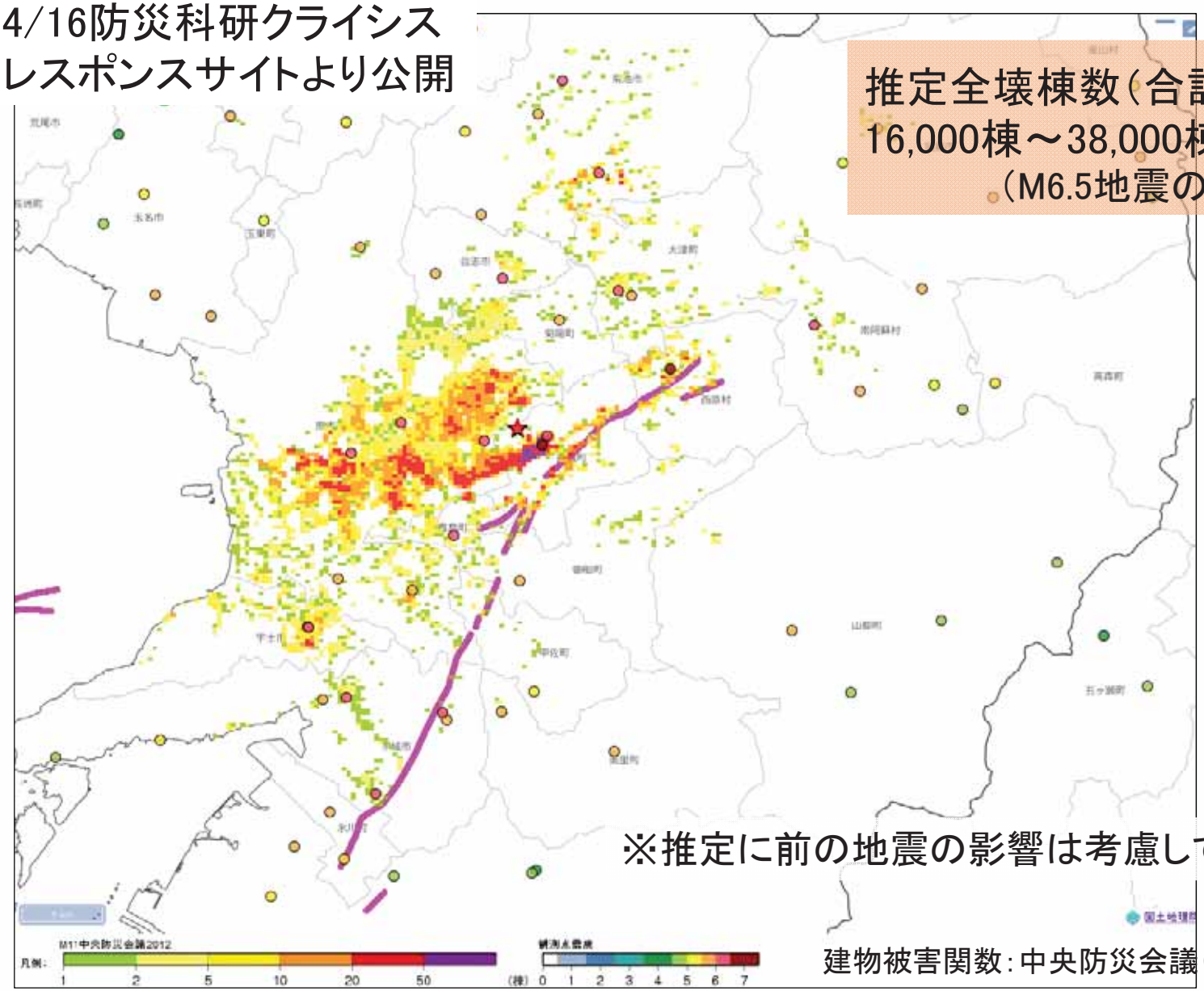


震度	面積(km^2)
6強以上	591
6弱以上	1640
5強以上	3601
5弱以上	6841

M6.5地震の約4倍

推定全壊棟数分布（M7.3地震）

4/16防災科研クライシス
レスポンスサイトより公開



推定全壊棟数（合計暫定値）：
16,000棟～38,000棟
（M6.5地震の約2.6倍）

※推定に前の地震の影響は考慮していない。

建物被害関数：中央防災会議（2012）

M7.3地震における実被害と被害推定結果の比較

県市町村名		建物全壊棟数					
		実被害[15),16)]	推定手法				
			M1	M2	M3	M4	M5
熊本県	熊本市	2,362	16,679	9,577	16,936	9,216	23,235
	八代市	11	12	3	4	2	17
	人吉市	0	0	0	0	0	0
	荒尾市	0	0	0	0	0	0
	水俣市	0	0	0	0	0	0
	玉名市	9	26	19	34	16	40
	山鹿市	0	2	0	1	0	3
	菊池市	50	1,097	703	1,183	687	1,539
	宇土市	92	1,062	595	1,080	573	1,503
	上天草市	0	4	3	5	2	6
	宇城市	388	427	239	449	223	639
	阿蘇市	106	140	83	153	76	209
	天草市	0	1	0	0	0	1
	合志市	17	408	233	431	215	606
	美里町	9	27	20	34	17	40
	玉東町	11	7	5	9	4	10
	南関町	0	0	0	0	0	0
	長州町	0	0	0	0	0	0
	和水町	0	16	12	19	10	23
	大津町	117	642	348	648	335	940
	菊陽町	13	308	175	333	166	455
	南小国町	1	2	1	2	1	3
	小国町	0	2	2	2	1	3
	産山村	12	1	1	1	0	1

県市町村名		建物全壊棟数					
		実被害[15),16)]	推定手法				
			M1	M2	M3	M4	M5
熊本県	高森町	0	1	1	1	0	2
	西原村	505	987	669	1,082	667	1,304
	南阿蘇村	480	205	116	217	109	302
	御船町	712	245	146	258	144	361
	嘉島町	272	322	180	329	174	458
	益城町	2,393	4,033	2,900	4,295	3,029	5,198
	甲佐町	112	95	51	95	48	142
	山都町	22	54	37	64	34	79
	氷川町	30	11	8	14	6	17
	芦北町	0	0	0	0	0	0
	津奈木町	0	0	0	0	0	0
	錦町	0	0	0	0	0	0
	多良木町	0	0	0	0	0	0
	湯前町	0	0	0	0	0	0
	水上町	0	0	0	0	0	0
	相良村	0	0	0	0	0	0
	五木村	0	0	0	0	0	0
	山江村	0	0	0	0	0	0
	球磨村	0	0	0	0	0	0
	あさぎり町	0	0	0	0	0	0
	苓北町	0	0	0	0	0	0
大分県		4	307	186	334	176	432
合計		7,728	27,123	16,313	28,013	15,931	37,568

実被害

- 熊本県災害対策本部：平成28年（2016年）熊本地震に係る被害状況等について（第95報）
- 消防庁災害対策本部：熊本県熊本地方を震源とする地震（第62報）

熊本地震における成果と課題

- リアルタイム地震被害推定システムにより、暫定的な結果であるが、地震発生後10分程度で建物被害棟数分布を推定することができた。
- 実際の被害状況について詳細は明らかになっている段階ではないが、推定で得た益城町の定性的な被害の空間分布は、これまで報告されている実際の被害状況と調和的なものである。

↓

- 建物等の被害の全容を把握するための調査
- 調査結果に基づく被害推定結果の精度検証と精度向上のための改良

- 熊本地震では大きな前震、本震、その後の活発な地震活動により、立て続く強震動で建物の強度が低下し、建物被害が発生した可能性も指摘されている。
- 現行のシステムではそのような建物強度の変化を考慮していない。

↓

- 連続して発生する地震の強震動による建物の強度変化を考慮した被害推定手法の検討